

人民代表會は百人に一人の割合で選出せる代表から成り、毎年一回三月に定期的に開催されることになつた。

中央執行委員會は七人乃至十一人の委員から成り、人民代表大會に選舉されて就任し、任期一年、首席一人を互選して農務聯合會を代表せしめた。

中央執行委員會には農務部（行政、司法、經濟）文化部（宣傳、教育、機關誌編輯）及び保安部があり、各部に一人の執行委員が責任者として選任されてゐた。

中央執行委員會の主要任務は地方農務會の指導である。

中央検査委員は人民代表大會の選舉によつて任命され任期一年であることは中央執行委員と同様であることは代表大會の決議に依る委任を受けて聯合會の一切の事業に就いて検査した。

地方農務會は中央執行委員會の下に活動し、住民大會は地方農務會最高議決機關であり、一年一回三月に開かれる。執行委員會は住民大會で決議せる一切の事業の執行の任に當り、執行委員は住民大會の決議に依り中央執行委員會の承認を得て任命され任期一年である。執行委員會には農務、教育、經濟、司法、保安の

會を改選した。改選後の中央執行委員は次の如くである。

首席、姜雲山、常務執行委員、金秋谷、朴來春、尹一山、姜復圓、李容漢、劉海山

(4) 韓族農務聯合會の内紛

農務聯合會成立當時より朴來春一派の舊歸一黨と姜雲山を中心とする農民黨との間に紛争が絶えず、其の間農民黨の舊歸一黨に對する陰謀發覺し舊歸一黨は農民黨に比較して有力な武力を持つてゐた爲昭和六年八月中旬臨時人民代表大會席上で委員の改選を行ひ姜雲山一派を排撃して自派の幹部を以て之に代へ、尙軍事部を中心に暴力團韓テロ團を組織した。裏面團體たる韓國革命者同盟も解消して韓族同盟會を作つたのである。

八月下旬前韓族總聯合會中の無政府主義分子金是世は農務聯合會の内紛に乗じ自派の勢力を復活せんとして石頭河子、海林等にて策動中、韓テロ團は金是世等の策動の爲地方農務會の農務聯合會を脱退せるものあるに、金是世等も農民黨接近の傾向があつた爲海林で金是世を石頭河子で金夜峯外一名の無政府主義系の者を殺害した。其爲無政府主義系及び農民黨は合同して韓テロ團に對抗する様になつた。

五部を置き各部の事業は大體次の如くである。

農務部、農業改良に關する事、土地賣買及び商租に關すること、其他一切の農業に關する事項

教育部、住民の知識啓發に關する事項、教育費收納に關する事項、其他一切教育に關する事項

保安部、地方の安寧秩序に關する事項、其他一切警備に關する事項、訴訟の場合には保安責任が檢事の職務を執行する。

司法部、民事、刑事の訴訟に關する事項

經濟部、義務金、地方費收納に關する件、其他經濟に關する一切の事項

検査委員は中央検査員同様住民大會の決議に依り地方韓族農務會の事業一切に就て検査し任期一年である。

以上が綱族農務聯合會の組織の概略である。大體ソウエートの組織を模倣したのであり、上述の民主的中央集權主義に則る旨の宣言が大體行はれてゐるのである。併しこの事は決して思想的に共產主義的である事を意味してゐない。

四月二十日農務會代表の活動に依つて各地の農務會代表の組織を終りて山市に代表會議を開き韓族農務聯合會及び地方農務會の綱領規約を確定し中央執行委員

尙韓テロ團は滿洲事變勃發の機に乗じ哈爾濱に侵入し十萬金募集計劃を實行中韓テロ團隊長李白虎、庶務責任朴來春を逮捕され、後間も無く金凌を中心とする殘黨も殺人事件の爲支那側の大彈壓を受け主要人物悉く四散するに至つた。

尙韓族總聯合會時代の幹部南大觀、權守貞は昭和六年一月から吉林に赴き軍法處の通譯として實際は密偵として活動してゐたが、事變後韓國獨立黨に加入し専ら國民黨部反吉林軍との連絡に當つてゐたが、本年二月頃兩人共殺害された。

第七 朝鮮革命軍吉江指揮部——世火

軍——東方革命軍

金光烈、李鐘洛、高轉信等を中心として主として哈長間に活動した朝鮮革命軍吉江指揮部、後に改稱して在滿朝鮮革命軍は國民府脱退派、共產系分子の一部及び金光烈の東亞革命軍の一派から構成され、其の傾向は左翼民族主義でも名付けるべきものであつた。而して、其の結成の際發せる宣言書に列擧せるスローガンを見ても。

帝國主義國民黨の打倒
勞農兵蘇維埃の建設

朝鮮革命黨、國民府、韓族總聯合會、生育社、民會等の反革命的集團の撲滅

中國共產黨指導下の地方暴動への組織的参加
全滿的遊撃戦開始
勞農武裝隊組織

一齊に反革命の武裝を解除し赤軍を組織等を列擧し一見共產主義イデオロギーに立つ如く見えるのであるが、中心人物たる金光烈は大正八九年頃獨立騷擾に關係し後滿洲で日本の牒報機關に勤務して居つた者で、日本側と關係が無くなつた後も呼倫巴爾に理想國建設を夢想したり、其の組織した(昭和五年初)東亞革命軍も何れも其の目的を分かたず疑はしいものであり、李鏡洛、高轄信等の國民府脱退派も必ずしも明白な意識を持つ者ではなかつた。唯だ吉林省磐石の共產黨員金月等が之に加はり其の意見が上述のスローガンに表はれたのである。

朝鮮革命黨吉江指揮部の組織は昭和五年八月である。本部を哈長沿線陶賴昭に置き、李鏡洛が總指揮となり其の下に金光烈の責任者たる軍事部、安鵬(國民府脱退派)の責任者たる政治部があり、政治部は秘書部(責崔昌森)宣傳部(責任金三根)に分れてゐた。軍事部の下には五隊あつたと言ふことである。

組織當時中に共產黨の哈爾濱市委員會と連絡せんとした形跡あるが成立しなかつた様である。

彼等は主として軍資金募集の名目で東支鐵道南部線四平街以北の滿鐵沿線地方の鮮人に對して掠奪的行爲を爲し、其他には民族主義運動らしい、事もやらなかつた。彼等が連絡を中國共產黨に求めたことが事實だとしても相手にされなかつたのは當然である。

吉江指揮部が恰も共產主義團體の如きスローガンを掲げてゐたのは上述の如くであるが、昭和五年末支那側官憲が共產黨の運動に對して取締を嚴にし始めたため、彼等は官憲の眼を逃れんが爲吉江指揮部を改組して民族團體を標榜して在滿朝鮮革命軍司令部を作り活動を開始した。

然し昭和六年一月末金光烈、李鏡洛は長春警察署に逮捕され在滿朝鮮革命軍司令部も成立早々崩壊に瀕したのである。

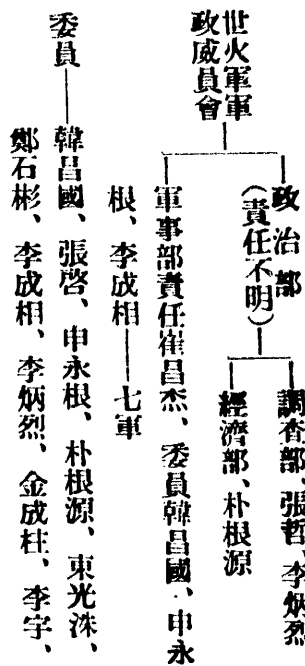
在滿朝鮮革命の司令部司令長は李鏡洛、顧問高轄信軍事部委員、金光烈、參謀部委員安鵬、政治部委員張基明、朴振であつた、尙軍隊は哈長沿線各地に八隊あつたと言ふ事である。

其後高轄信、安鵬等の殘黨は三月上旬吉林で集合し再起を圖り、武器の購入方法、連絡通信手段、資金募

集等に就いて協議し尙滿鐵破壞等のことを決議した。

然し三月末更に高轄信逮捕され、殘餘の者に韓昌國等の國民府脱退派を新に加へ世火軍軍政委員會なるものが組織された。此は更に昭和六年五月東方革命軍と改稱された。

世火軍軍政委員會の組織は次の如くであつた。



ソウエート聯邦

コルホズ等の公共財産保護の新法に関する露紙記事

一、公有財産は神聖にして之を冒す可らず

(ブラウダ紙社説より電報の抄録)

國營企業、コルホズ、コオペラチーフ所有財産の保護及公共團體(社會的)所有財産確立に關する「ソ」聯邦中央執行委員會及人民委員會々議の法令は經濟的に

世火軍——東方革命軍は再び共產系に接近せんとし國民府反對運動をなし且つ經濟行動を稱して軍資金徵收を行つてゐた。

滿洲事變頃を境とし彼等の行動は漸次不振となり現在時に其の活動を傳へられる事もあるも實際殆ど其の勢力は言ふに足らないものである。

其は滿洲事變後の急變と共に彼等の内訌が原因してゐるのである。幹部中崔昌森、韓昌國の軋轢等殊に甚しく不振の重要な原因をなしてゐた。韓昌國は昭和六年日本に歸順した。昭和六年十一月中旬崔昌森は清源縣で朝鮮革命黨決端鳳の部下に殺害された。

(H-I)